

市民と市長の

対話集会

- 公共施設 -

2025.05 芦屋市



①

そもそもなぜ、**対話**なのか

②

対話で実現したい公共施設の話

③

みなさまとの**対話**

Why “Dialogue”

そもそもなぜ、対話なのか

1



A scenic view of a stone-lined canal in Asahi City, Japan. The canal is flanked by stone walls and green grass. In the background, there are mountains and a church with a green spire. The sky is blue with white clouds.

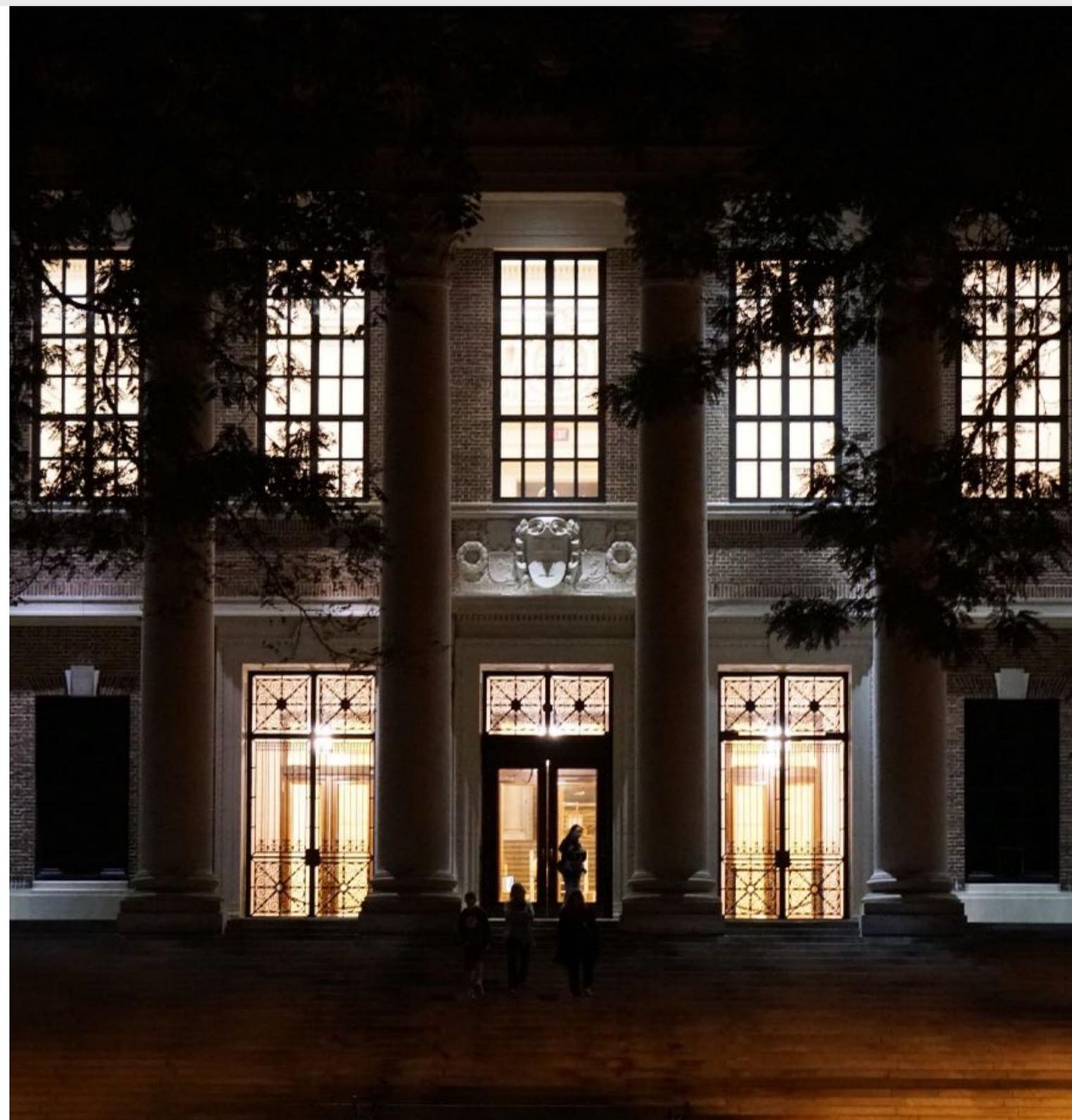
芦屋だからこそ、対話で創る 世界で一番住み続けたい街

市民と市役所は
対立ではなく、
共創する関係です

Our Vision

対話で実現したい公共施設の話

2



芦屋市には、
公共施設がどれほどあるか
知っていますか。

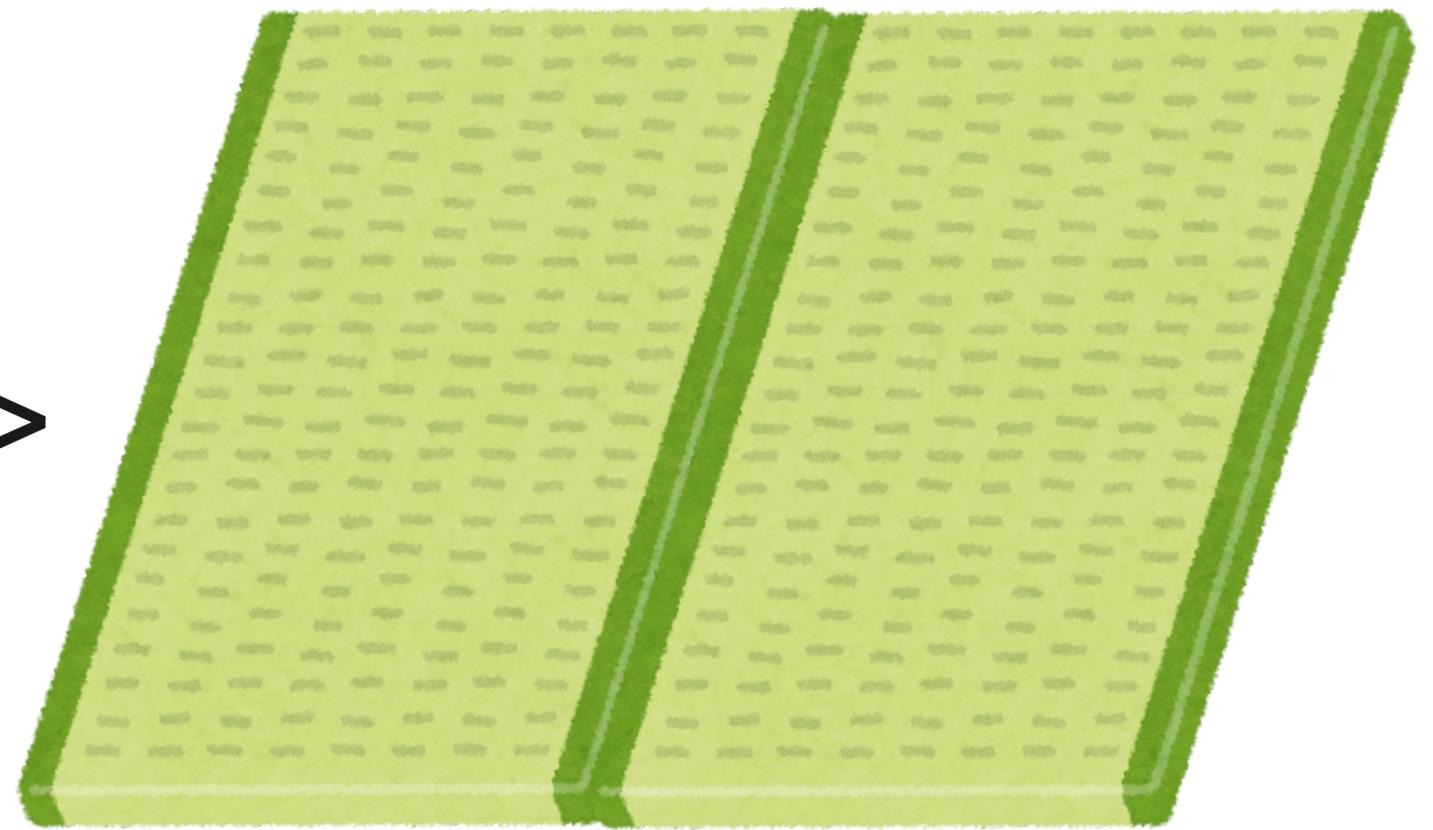
229施設

403,289 m² =



市民1人あたり

4.34m² >



芦屋市が

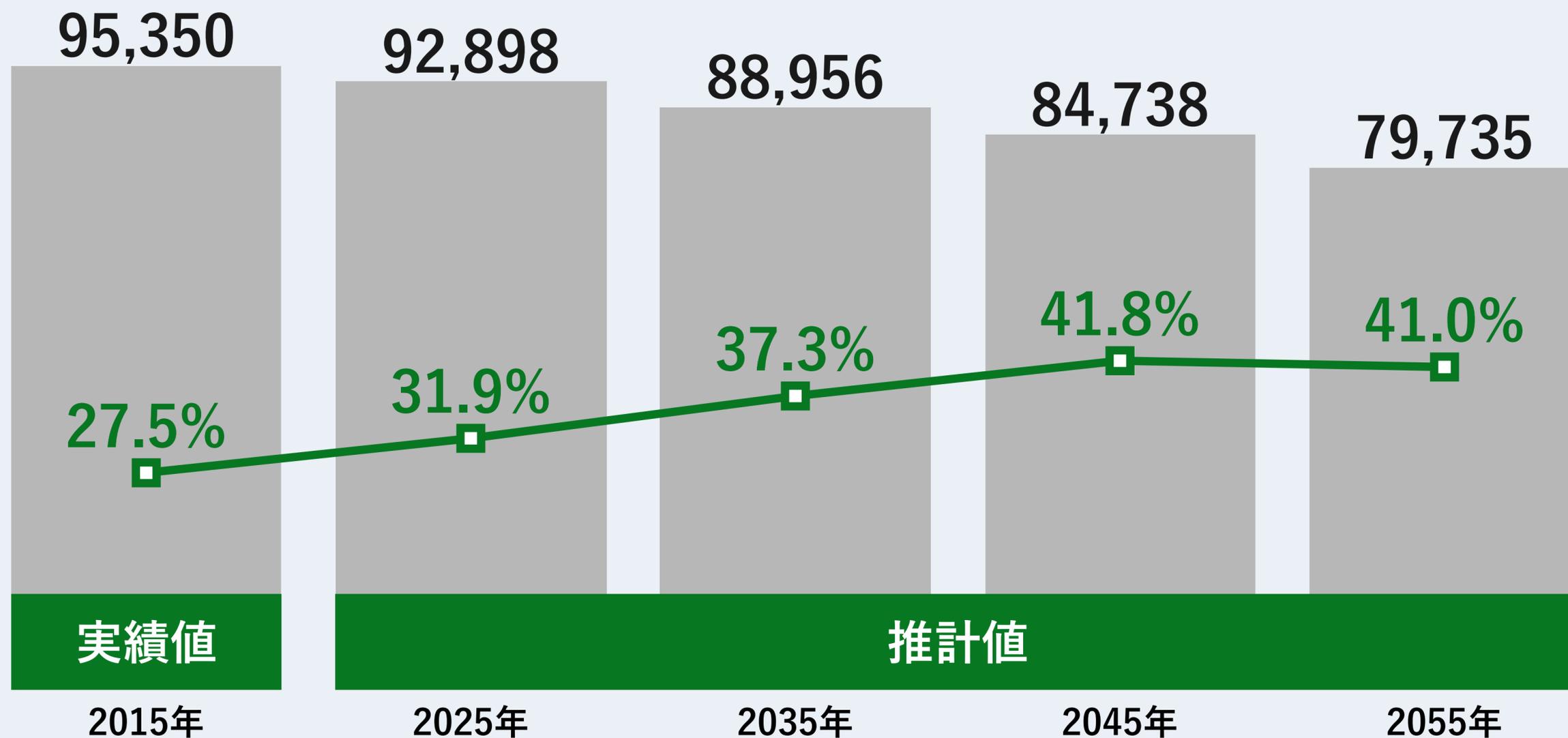
これからどうなるか、

知っていますか。

1

人口減と高齢化が進む芦屋市

人口・高齢化率将来推計



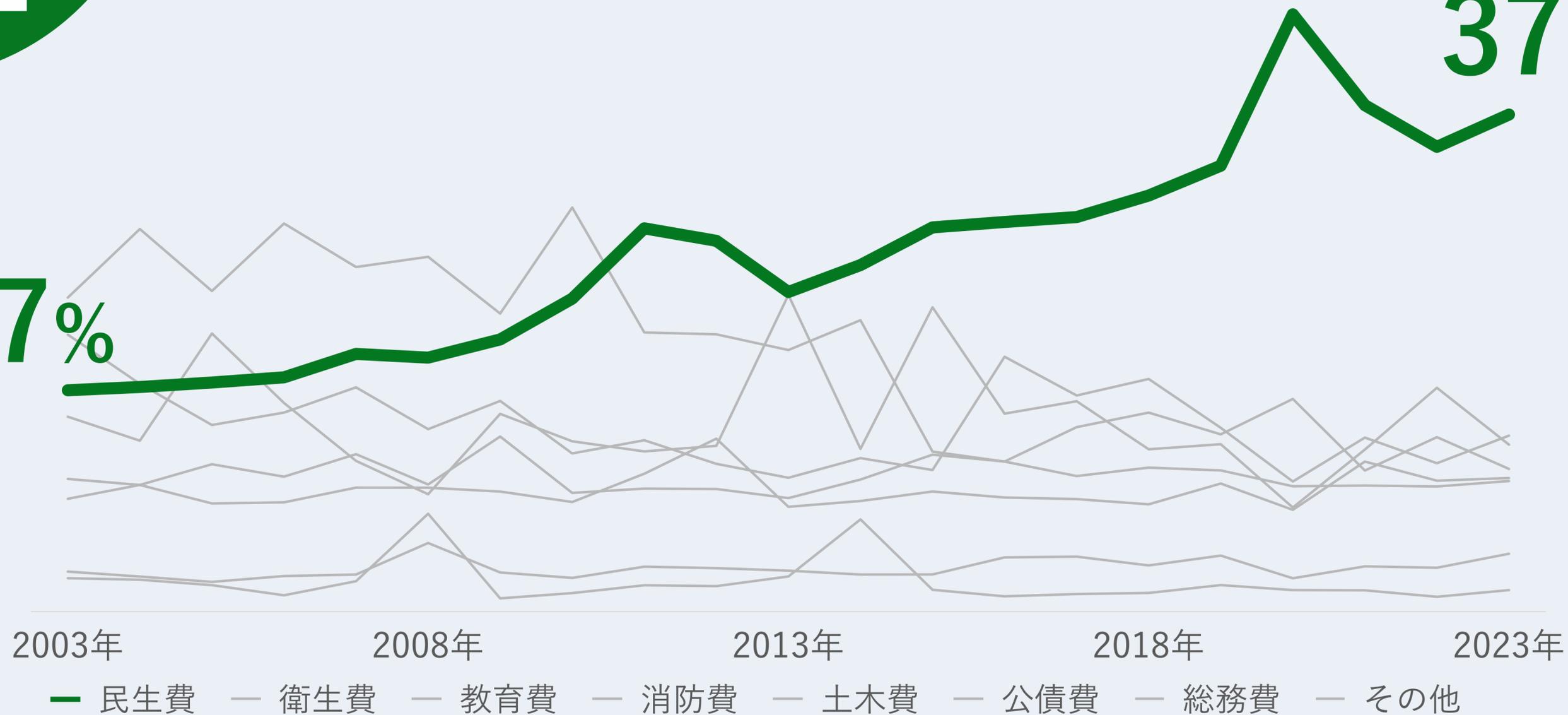
2

増え続ける、人にかかるお金

過去20年間の歳出総額に占める民生費の割合

民生費
37.7%

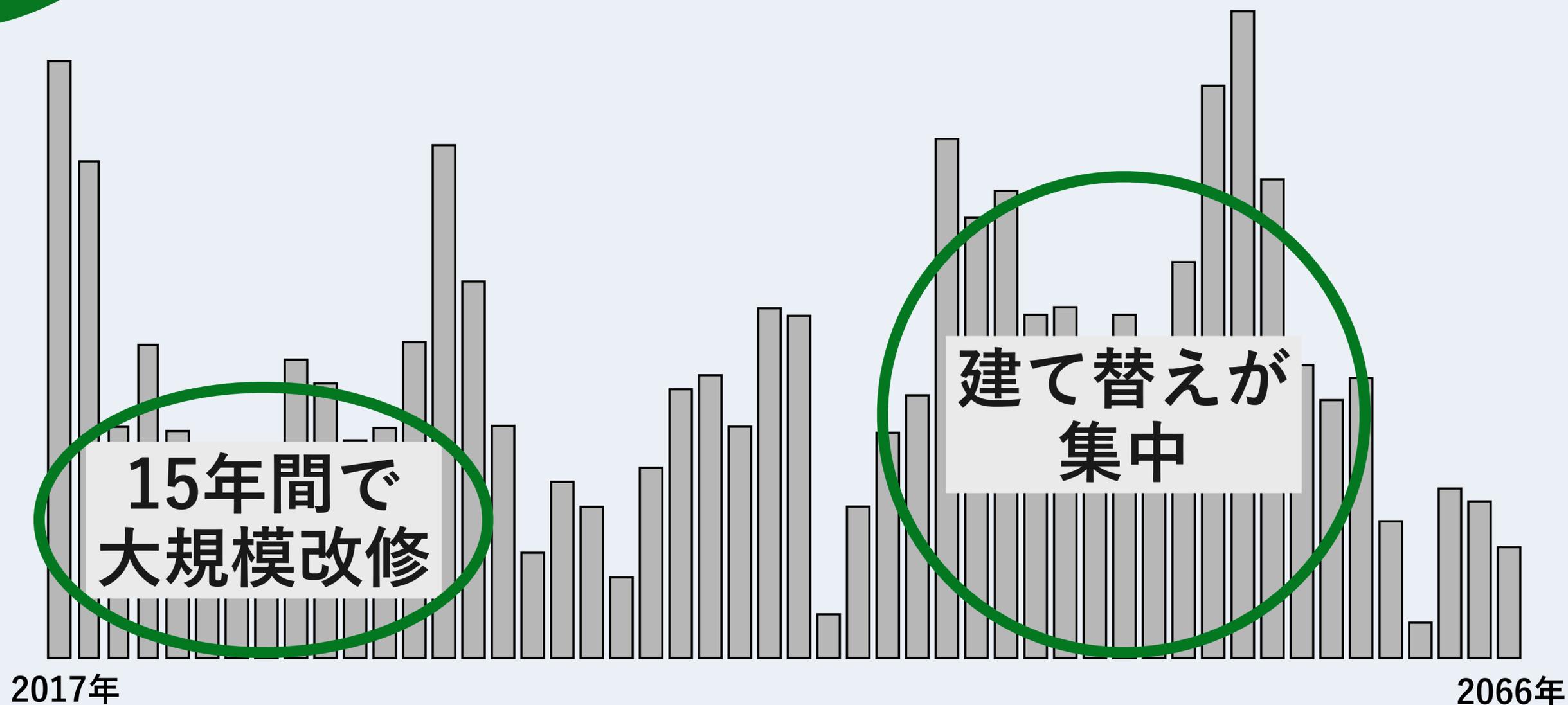
16.7%



3

建物すべてを改修/建替するお金の不足

老朽化が進み大規模改修や建替えが必要だが、いまある建物の改修・建替えも容易でない



15年間で
大規模改修

建て替えが
集中

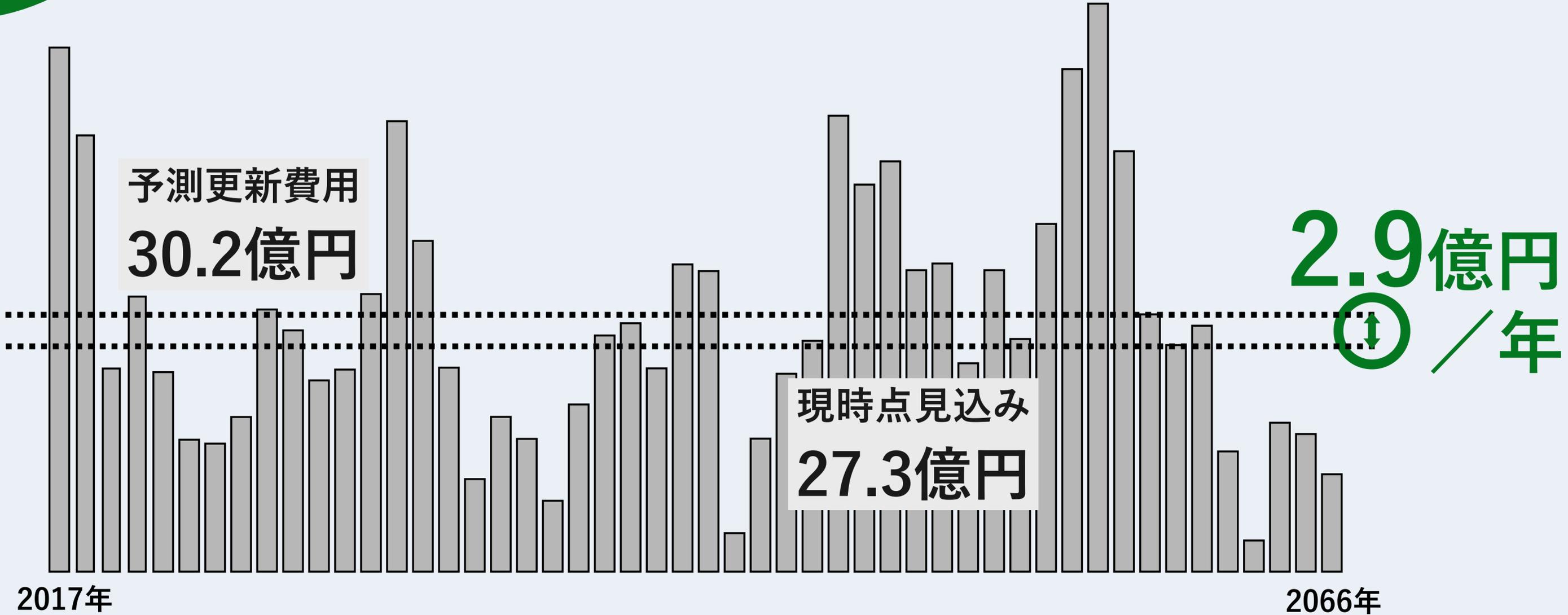
2017年

2066年

3

建物すべてを改修/建替するお金の不足

老朽化が進み大規模改修や建替えが必要だが、いまある建物の改修・建替えも容易でない



①

人口減少による**税収減**

②

社会保障費などの**民生費増**

③

大規模改修・建替の費用増

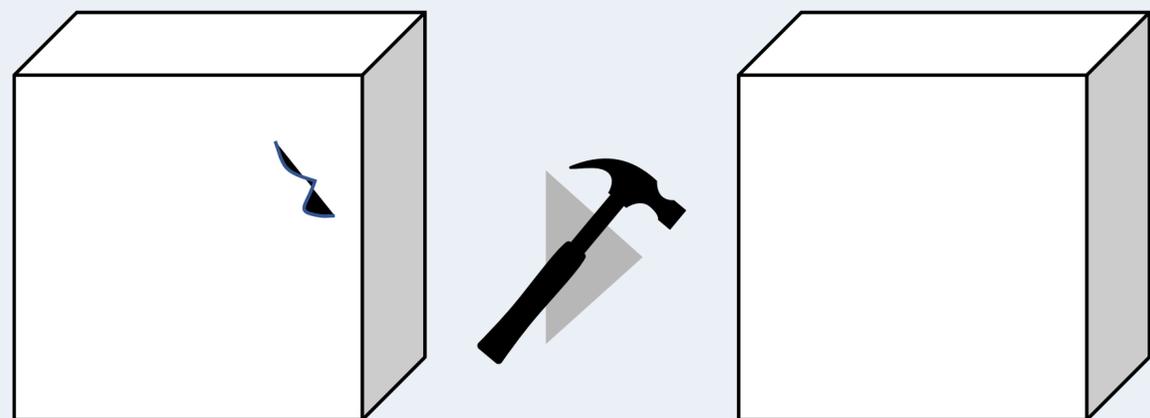
どうすればいい？

芦屋市の

公共施設にかかるお金を

少し減らす必要がある

施設にかかるお金を減らすには……



①長寿命化

適切に修理して
長持ちさせる



②民間活用

民間のノウハウで
施設を効率的に運営

①長寿命化

予め掃除や修理をして、大切に使うことで80-100年長持ちさせる。例えば、令和3年度に市立緑保育所を改修済



②民間のノウハウを活用

海浜公園プール・
朝日ヶ丘公園プールは、
市内でもジムを運営する
など、ノウハウのある
セントラルスポーツに
施設運営を任せている



市民ワークショップ 「公共施設マネジメントゲーム」

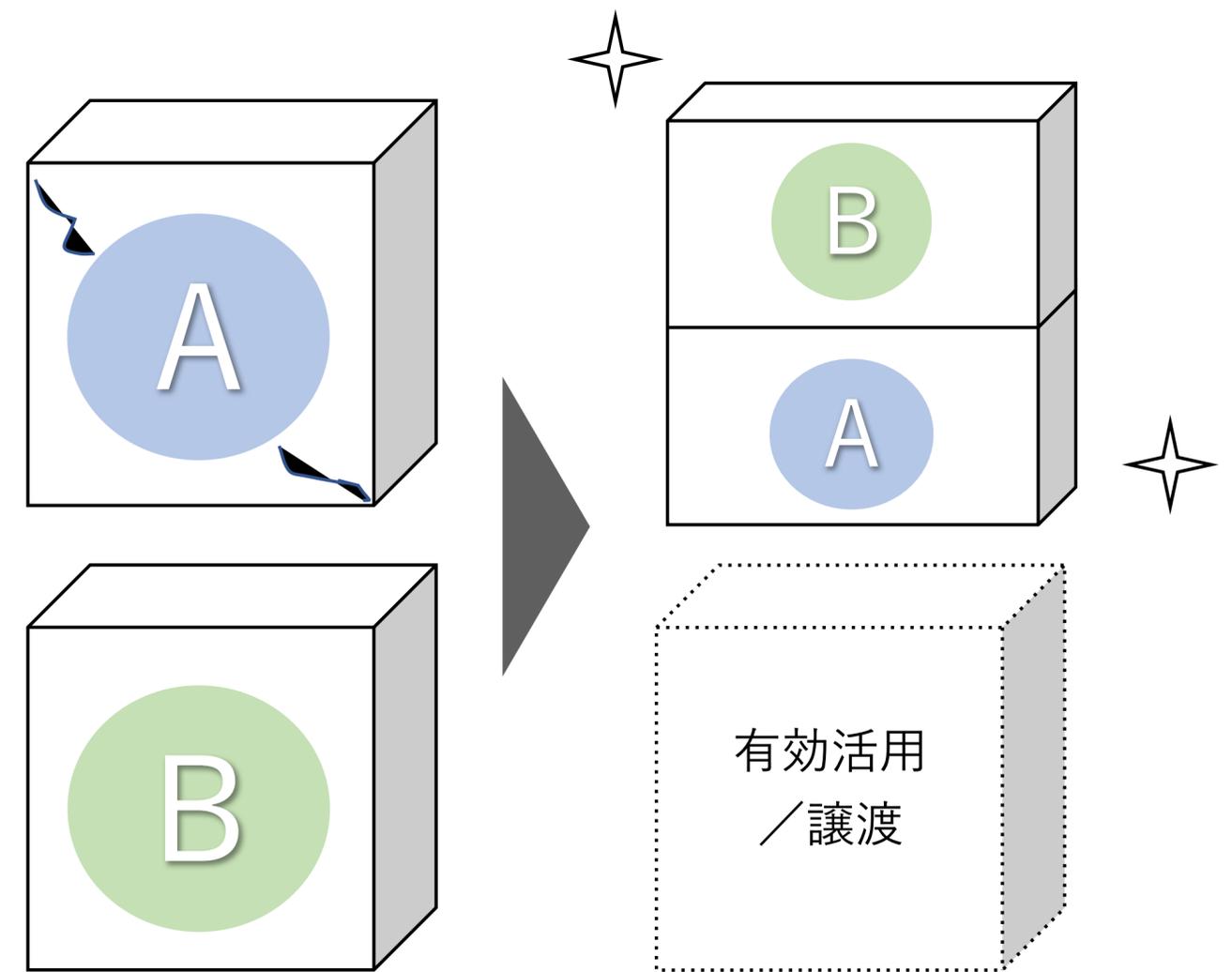
2025.3.16に開催
小学生～先輩世代まで25人が参加

機能維持のため、学校複合化

地域に必要な機能を
学校を中心にまとめる
べきだという意見多数。

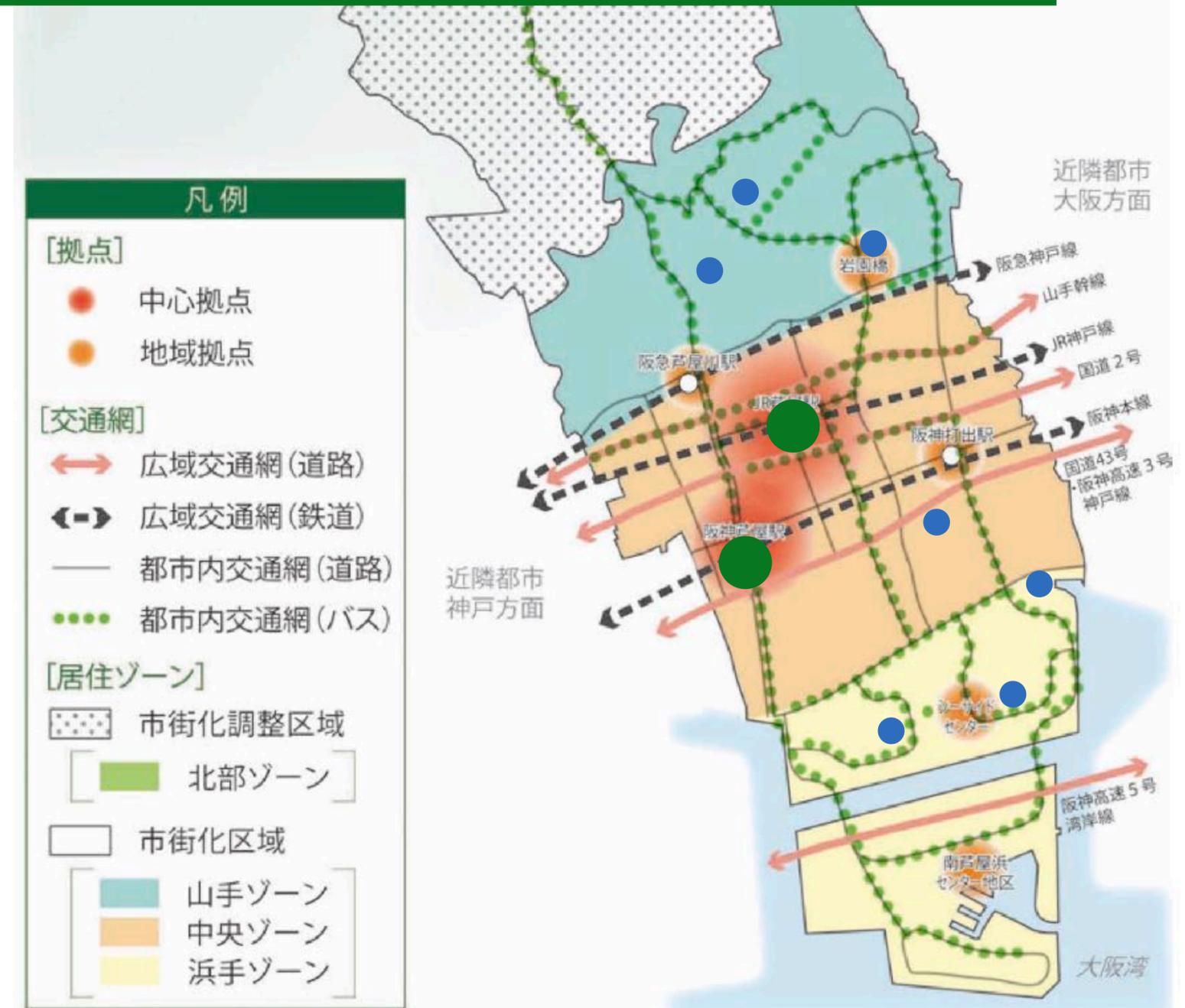
* 小学校はこどもが
通える距離にある

→ 小学校を地域の拠点に



主要駅は中心拠点、学校は地域の核

JR芦屋・阪神芦屋駅を
中心拠点に位置づけ、
大きな公共施設を配置。
小学校を地域の核とし、
地域によりそう
市民が集う場所へ。



Dialogue

みなさまとの対話

3



つくりたいのは、
要望の場ではなく
対話の場

お願いしたいこと

- 話は短めに！（話しすぎに注意しましょう）
- 違って当たり前！（否定より提案を）
- みんなで学び合う！（知らなくて当たり前）
- 話をつなげる！（対話を楽しみましょう）